

進路通信 第1号

2024年度 松戸市立第三中学校

新しい年度となり中学校のラストの1年になります。私たち第3学年職員一同も、緊張感をもちつつ、皆さんたちとともに大きな希望をもって過ごしていきたいと思っております。義務教育の最終年にあたる今年、生徒の皆さんの進路選択の年でもあります。この進路通信を通して、進路に関する行事予定や情報などを卒業まで提供していきたいと考えています。

進路を決めるとは？

進路を決定するとはどのようなことでしょうか。どのようなことに気づいていけばよいのでしょうか。進路選択を考える為に、次の7つのステップを踏んで考えてみてください。自分の意志で決定して受験するからには、第一志望であろうと、第二志望であろうと、自信を持って進学してほしいです。他人に押しつけられたものはなく、自分自身で選択したのですから、自信をもって進学をしてください。

進路希望の7つのステップ

① なりたい (意 志) - (入りたい)	⑤ なるべきか (生きがい) - (入るべきか)
② 何のために (目 的) - (何のために)	⑥ なろう (意 欲) - (入ろう)
③ なるには (方 法) - (入るには)	⑦ なる (実 現) - (入る)
④ なれるか (可能性) - (入れるか)	

1年間を見通した学習計画を!!

3年生にとって1番大きく、大事な問題は「進路」の選択です。その選択をするうえで大きな要素になるものに「学力」があります。学力の向上は一朝一夕で実現するものではありません。中3の勉強は「二本立て」です。一本は毎日の授業の予習と復習、もう一本は受験の勉強です。この二本をバランスよく進めていくことが最後の栄冠を手にする条件です。よく受験勉強にばかり力を入れて授業をおろそかにする人がいますが、これは大きな間違いです。授業はすべての基礎なのですから、授業を充実させることは受験にも当然つながっていきます。二本立て学習が成功するには、先を見通した計画と、この計画を実行に移すことが出来る規則正しい生活が必要です。

☆保護者の皆様へ☆

進路の選択は、子どもが初めて直面する厳しい選択です。「進路選択＝高校選択」と短絡させず、広い視野から子どもの10年後、20年後の生活を見つめながら、じっくりと考えていきたいものです。親子の意志が通い合っている時、子どもは生き生きと生活できるのです。親の希望を一方向的に押し付けるのではなく、子どもの希望や考えを大切に、どんなことでも話し合える雰囲気づくりをお願いします。

※今後は、保護者・生徒・教師が三者一体となって、進路を検討していきたいと考えております。
ご不明な点、ご質問がありましたら、ご遠慮なく担任にご相談ください。

☆連絡☆

進路通信は、生徒用と家庭保管用の計2部配付をしていきます。

穴があいているもの ⇒ 生徒用 穴があいていないもの ⇒ 家庭保管用

※ 生徒用の進路通信は、配られたら必ず目を通し、進路ファイル(オレンジ色)に綴じておいてください。